

## まとめ・ふり返り

1月31日(木)の授業では、フレッシュマン・フィールド・セミナーのまとめとふり返りを行った。受講者の意見(発言内容)をまとめると以下のとおりであった。

### 1. 合同成果発表会について

- ・ 来訪者より、内容はおもしろいが、ポスターは文字が多くて見にくいという意見があった。
- ・ ポスターは、文字が多く、見にくかった。【複数の同様の意見あり】
- ・ ポスターは、他のゼミより見劣りがした。
- ・ ポスターは、遠目にはカラフルで、わかりやすかった。
- ・ ポスター1枚では制約が大きかった(枚数を増やしたほうがよい)。【複数の同様の意見あり】
- ・ 画像(スライドショー)やグラフを活用すればよい。【複数の同様の意見あり】
- ・ 手書きポスターのほうが「味」がある。【複数の同様の意見あり】
- ・ プレゼンテーションをすることを前提にポスターを制作すればよかった。
- ・ リーフレットの配布や動画の使用などのくふうがなく、来訪者が近づきにくかった。
- ・ プレゼンテーションのリハーサルが必要だった。【複数の同様の意見あり】
- ・ (グループ内で)説明内容の統一ができていなかった。
- ・ すべてを説明しようとせずに、要点を説明すればよかった。
- ・ ポスターの文章を読みあげるのではなく、ポスターには最小限のことを記し、詳細は説明係が説明するようにすればよかった。
- ・ ポスターの文章を全部読む人はいないので、来訪者が説明(要約)を聞いてわかるようにしておけばよかった。
- ・ 自分から進んで来訪者に説明することができなかった。
- ・ 各グループで3交替制としたため、同時に複数の説明係がいることもあったが、ひとりでよかった。
- ・ 他のゼミには、ポスターを見せる順番が決まっていて、来訪者に説明係がついて体系的に見せるところがあり、それは良かった。

### 2. 地域調査について

- ・ 最初に景観観察に行ったのがよかった。
- ・ 景観観察では、景色の写真ばかりを撮っていた。
- ・ 景観観察で撮影した画像を（発表会や報告書に）生かしきれなかった。
- ・ 日高地区の景観観察の時間が不足していた。
- ・ 地区の特性がわからず、あまり考えずに自分たちの担当地区を選んだ。
- ・ 景観観察で疑問に思ったことを（予備調査や本調査で）聞いたことがよかった。
- ・ 予備調査で、その地域の人々の考えを知ることができ、よかった。
- ・ 本調査で戸別訪問し、予備調査ではわからなかった、住民ひとりひとりの考えが聞けて、それが発表会に生かした。
- ・ 本調査のとき、会話のなかから新たな（次の）質問を拾い出すことができなかった。
- ・ 本調査のとき、（4軒め、5軒めと）後半になると質問することがなくなった。
- ・ 予備調査と本調査のインフォーマントが重複し（同じ人に2回聞き取り調査を行うことになり）、質問することがなくなった。【複数の同様の意見あり】
- ・ 聞き取り調査のとき、質問が尽きて、沈黙の時間ができた。
- ・ 聞き取り調査のとき、（同行した担当教員に頼り）自分たちだけでインタビューすることができなかった。
- ・ 質問項目をもっとたくさん準備しておけばよかった。
- ・ 自分から進んで質問することができなかった。
- ・ （景観観察、予備調査、本調査と）地域調査の基本的な流れに沿って、おもしろい調査ができたと思う。
- ・ 現地調査の前に、基本的な情報を知っておくべきだった。
- ・ 予備知識（面積の単位など）を身につけておくべきだった。
- ・ 現地を訪れ、地域の人々の暮らしに触れることができた。
- ・ 現地を3回訪問したことによって、その地域のことを深く知ることができた。
- ・ 地域ごとに特徴がある。それがわかったことがよかった。
- ・ （農村には）一見何もないように思われたが、現地を訪れてみないとわからないことがあると思う。【複数の同様の意見あり】
- ・ 現地に行かないと地域の人々の本音が聞けないので、行ってよかった。
- ・ 日本農村の生活を知ることができて、楽しかった。
- ・ 地域の人々が協力的だった。

- ・ 現地との連絡調整で行き違いがあった。
  - ・ 担当地区を決めるのではなく、テーマごとに担当する班を決めればよかった。
3. 授業目標の達成度、フレッシュマン・フィールド・セミナー（授業それ自体）について、その他
- ・ 地域調査の手順、雰囲気がわかった。
  - ・ 調査したことをまとめる方法がわかった。
  - ・ 日本の農村の暮らしや食生活、文化が理解できた。
  - ・ 地域の人に話を聞いたので、地域の現状や課題を理解できた。
  - ・ 農村の現状・課題について、イメージしてはできるようになったと思う。
  - ・ (地域の) 課題が多く見つかった。
  - ・ (農村の暮らしは) 苦労は多くとも、「プラス」の面も多いことを知った。
  - ・ これまで農業・農村に興味はなかったが、少し興味がわいた。
  - ・ 農村に対して固定観念をもっていた。その地域なりの特色、生き方、考え方があることがわかった。
  - ・ 農村の課題に対処するため、法人を設立するなど、くふうがなされていることを知った。
  - ・ 地域の人々が努力してきたこと、地域の人が協力しあっていることがわかった。
  - ・ 農村の暮らしや農業には、地区により違いはあれ、総じて同じような課題があることを知った。課題がわかっていても、どのように解決したらよいかは難しいと思う。
  - ・ 後継者や少子高齢化の問題について、農村住民は、個人としてはあまり深刻に考えていないことに驚いた。
  - ・ 農業の後継者がいないと言いつつ、自分たちの子どもたちには他出することを容認していた。それが(今後の自分の)研究課題だと思う。
  - ・ 必ずしも自分の子どもが(自家農業の)跡を継がなくてもよいという意見も聞いた。統計調査ではわからないことを知ることができた。
  - ・ 農山村地域の収入源は農業だと思っていたが、景観や農村カフェなどの地域資源があり、それらが地域の発展につながるのではないかと思った。
  - ・ 農業・農村はどこも同じだと思っていたが、実際に行ってみると、自分が思っていた以上に地域に活力があり、人々が生き生きしていることがわかった。

- どこでもおいしい米はつくっているだろう。「オンリーワン」の資源をみつけて、情報発信していくことが必要であることを学んだ。
- 今後、地域ブランドについて調べてみたいと思った。
- 政策提言まではできなかつたので、今後、取り組みたい。
- 渉外の役割は担当しなかつたが、そのような仕事もしてみたい。
- リハーサルもせずに合同成果発表会が始まったが、長期間にわたって調べてきたので、自然に説明することができた。それは、自分が成長したということであろう。
- (この授業を通して) 自分が成長したという実感はない。まだまだだと思う。【複数の同様の意見あり】
- 発表会では、プレゼンテーションがうまくできなかつた。
- 今後、社会調査能力や発表能力を身につけたい。
- コミュニケーション能力の向上が自分の課題だと思った。【複数の同様の意見あり】
- 発表能力が身につけていないので、それが今後の課題である。【複数の同様の意見あり】
- 質問や発表するときに自分の考え(思い)を相手に伝えることができるようなスキルを身につけていきたい。
- 会話する中で(うまく質問して)情報を得る能力を身につけなければならないと思った。
- (この授業の) 反省をつぎのゼミに生かしていきたい。